



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月4日

上場会社名 株式会社タスキホールディングス 上場取引所 東
コード番号 166A URL <https://tasuki-holdings.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名） 柏村 雄
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 グループ経理部長 （氏名） 狩野 雄一郎 TEL 03 (6447) 0575
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	60,021	41.1	7,942	89.7	7,569	92.4	6,169	90.6	3,350	80.1
2025年9月期第3四半期	42,553	59.5	4,187	34.0	3,934	85.2	3,237	83.3	1,860	71.0

（注）1. 包括利益 2026年9月期第3四半期 4,387百万円（97.6％） 2025年9月期第3四半期 2,220百万円（91.8％）

2. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用＋PPA（棚卸資産の評価替え）取崩額

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	54.33	—
2025年9月期第3四半期	35.31	34.87

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	114,922	34,097	28.1
2025年9月期	83,248	33,005	38.3

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 32,286百万円 2025年9月期 31,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2026年9月期	—	16.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	34.00	50.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年9月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 24円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	100,450	35.0	11,500	26.3	11,000	24.8	9,300	19.1	5,800	17.6

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社ZISEDAL

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	61,735,523株	2025年9月期	61,636,723株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	15,135株	2025年9月期	14,683株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	61,669,246株	2025年9月期3Q	52,679,653株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2026年8月4日にT D n e t 及び当社ウェブサイトへ掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、継続的な物価上昇や中東情勢の影響を受けつつも、政府による各種政策や雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が堅調に推移したほか、AIや省力化への投資意欲を反映した企業の設備投資や、米国向け輸出に支えられた外需には持ち直しの動きが見られており、景気は全体として回復基調を維持しております。先行きについては、良好な雇用・所得環境や企業の設備投資意欲、各種政策効果を背景に、内需主導の堅調な推移が期待されるものの、賃金・物価動向や中東情勢のほか、原油価格・エネルギー需給の動向、海外経済の動向について、引き続き注視が必要な状況にあります。また、政府の経済対策や政策金利が金融市場及び実体経済に与える影響についても、慎重に見極めていく必要があります。

このような市場環境のなか、当社グループの主たる事業領域である不動産市場では、不動産価格は全体として高値圏で推移しており、東京圏では賃貸マンション・アパートの賃料上昇を背景として、投資用一棟マンションの価格も上昇傾向が継続しております。また、東京都の人口増加を背景とした賃貸需要の堅調な推移や、円安を背景とした国内不動産の相対的な割安感により、国内外の投資家による首都圏不動産への投資需要は良好な状況を維持しております。一方で、人件費や金利の上昇に加え、中東情勢の先行きや原材料・建築資材価格の動向が不動産市場に与える影響については、引き続き注視していく必要があります。

Life Platform事業においては、良好な事業環境を背景に積極的かつ収益性を重視した販売活動を推進し、前年同四半期と比べて増収・増益を達成するとともに、売上総利益率も改善しております。また、仕入活動も順調に進捗し、棚卸資産残高は3四半期連続で過去最高を更新しております。

また、当社は2026年6月15日に東京証券取引所プライム市場に上場市場区分を変更いたしました。今後も「人を起点に。空間をデジタルに。未来を変える仕組みをつくる。」というミッションのもと、AI/DXによる不動産業界の生産性向上に取り組み、持続的な成長を通じて企業価値の一層の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は前年同四半期と比べ174億68百万円増加の600億21百万円（41.1%増）、EBITDAは前年同四半期と比べ37億55百万円増加の79億42百万円

（89.7%増）、営業利益は前年同四半期と比べ36億35百万円増加の75億69百万円（92.4%増）、経常利益は前年同四半期と比べ29億31百万円増加の61億69百万円（90.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べ14億90百万円増加の33億50百万円（80.1%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、各セグメントの金額は、セグメント間取引を相殺消去する前の金額であります。

（Life Platform事業）

売上高は前年同四半期と比べ173億56百万円増加の597億91百万円、営業利益は前年同四半期と比べ34億67百万円増加の72億9百万円となりました。

（AI Dynamics事業）

売上高は70百万円、営業損益は83百万円の営業損失となりました。

（Finance Consulting事業）

売上高は前年同四半期と比べ49百万円増加の1億68百万円、営業利益は前年同四半期と比べ26百万円増加の70百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ316億73百万円増加し、1,149億22百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末と比べ323億74百万円増加の1,079億51百万円、固定資産は前連結会計年度末と比べ6億97百万円減少の69億59百万円となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が前連結会計年度末と比べ88億96百万円減少した一方で、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が前連結会計年度末と比べ合計で388億8百万円、短期貸付金が前連結会計年度末と比べ11億46百万円増加したことによります。

固定資産の主な減少要因は、投資有価証券が前連結会計年度末と比べ8億16百万円増加した一方で、有形固定資産が前連結会計年度末と比べ13億45百万円減少したことによります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ305億82百万円増加し、808億25百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末と比べ94億69百万円増加の292億14百万円、固定負債は前連結会計年度末と比べ211億12百万円増加の516億11百万円となりました。

流動負債の主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金が前連結会計年度末と比べ45億10百万円、短期借入金が前連結会計年度末と比べ39億95百万円、工事未払金が前連結会計年度末と比べ5億81百万円増加したことによります。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が前連結会計年度末と比べ202億52百万円増加したことによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ10億91百万円増加の340億97百万円となりました。その主な増加要因は、剰余金の配当により利益剰余金が32億5百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益33億50百万円を計上したほか、非支配株主持分が前連結会計年度末と比べ7億31百万円、その他有価証券評価差額金が前連結会計年度末と比べ3億6百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績につきましては、2025年11月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想については、本資料の日付時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,203,066	17,306,160
販売用不動産	—	7,417,310
仕掛販売用不動産	45,218,042	76,609,080
原材料及び貯蔵品	7,447	13,945
前渡金	1,176,888	1,145,523
短期貸付金	2,021,000	3,167,000
その他	950,722	2,292,472
流動資産合計	75,577,167	107,951,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,540,191	793,906
機械装置及び運搬具（純額）	3,519	3,714
工具、器具及び備品（純額）	37,629	41,434
土地	1,315,228	671,536
建設仮勘定	700	41,333
有形固定資産合計	2,897,268	1,551,925
無形固定資産		
のれん	2,981,881	2,719,623
ソフトウェア	65,450	61,703
その他	28,308	26,660
無形固定資産合計	3,075,640	2,807,987
投資その他の資産		
投資有価証券	1,137,862	1,954,434
繰延税金資産	218,572	204,778
その他	419,041	530,864
貸倒引当金	△91,819	△90,982
投資その他の資産合計	1,683,656	2,599,095
固定資産合計	7,656,566	6,959,008
繰延資産		
開業費	113	53
創立費	14,865	11,809
繰延資産合計	14,979	11,862
資産合計	83,248,712	114,922,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	368,494	949,691
短期借入金	10,477,225	14,472,720
1年内返済予定の長期借入金	6,322,003	10,832,322
1年内償還予定の社債	94,000	39,000
未払金	319,843	223,274
未払法人税等	1,153,616	1,285,380
契約負債	251,000	335,650
賞与引当金	172,141	235,081
役員賞与引当金	198,539	—
その他	388,174	841,144
流動負債合計	19,745,037	29,214,265
固定負債		
社債	55,000	23,000
長期借入金	30,057,653	50,310,267
退職給付に係る負債	83,145	92,182
役員退職慰労引当金	61,509	66,396
繰延税金負債	117,527	264,959
その他	123,286	854,264
固定負債合計	30,498,121	51,611,069
負債合計	50,243,159	80,825,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,242,483	6,286,893
資本剰余金	17,131,413	17,175,823
利益剰余金	8,484,592	8,450,211
自己株式	△9,462	△9,828
株主資本合計	31,849,026	31,903,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,735	382,923
その他の包括利益累計額合計	76,735	382,923
非支配株主持分	1,079,791	1,811,003
純資産合計	33,005,553	34,097,028
負債純資産合計	83,248,712	114,922,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	42,553,033	60,021,591
売上原価	34,860,939	47,403,959
売上総利益	7,692,094	12,617,632
販売費及び一般管理費	3,757,875	5,048,261
営業利益	3,934,218	7,569,370
営業外収益		
受取利息	10,791	23,040
受取配当金	7,375	10,469
受取地代家賃	16,162	16,672
持分法による投資利益	21,354	—
その他	15,435	11,829
営業外収益合計	71,120	62,012
営業外費用		
支払利息	523,242	990,787
支払手数料	120,189	226,083
持分法による投資損失	—	18,415
その他	124,286	226,779
営業外費用合計	767,718	1,462,065
経常利益	3,237,620	6,169,317
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	8,542	—
固定資産売却益	—	161,003
特別利益合計	8,542	161,003
特別損失		
固定資産除却損	—	6,706
減損損失	—	194,292
特別損失合計	—	200,999
税金等調整前四半期純利益	3,246,163	6,129,321
法人税、住民税及び事業税	828,320	2,027,231
法人税等調整額	259,972	20,293
法人税等合計	1,088,292	2,047,525
四半期純利益	2,157,870	4,081,796
非支配株主に帰属する四半期純利益	297,632	731,212
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,860,237	3,350,584

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,157,870	4,081,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,945	306,187
その他の包括利益合計	62,945	306,187
四半期包括利益	2,220,816	4,387,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,923,183	3,656,771
非支配株主に係る四半期包括利益	297,632	731,212

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	49,507千円	95,372千円
のれんの償却額	262,258千円	262,258千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	Life Platform 事業	Finance Consulting事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,435,838	112,745	42,548,583	4,450	42,553,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	7,016	7,016	△7,016	—
計	42,435,838	119,762	42,555,600	△2,566	42,553,033
セグメント利益	3,741,957	44,127	3,786,084	148,133	3,934,218

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△7,016千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額148,133千円は、セグメント間取引消去710,305千円、各セグメントに配分していない全社費用△562,171千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	Life Platform 事業	AI Dynamics 事業	Finance Consulting 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	59,791,914	57,371	157,905	60,007,191	14,400	60,021,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13,514	11,060	24,574	△24,574	—
計	59,791,914	70,886	168,965	60,031,766	△10,174	60,021,591
セグメント利益又はセグメント損失（△）	7,209,605	△83,508	70,700	7,196,797	372,573	7,569,370

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△24,574千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額372,573千円は、セグメント間取引消去1,036,515千円、各セグメントに配分していない全社費用△663,941千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「Life Platform事業」及び「Finance Consulting事業」の2区分を報告セグメントとしておりましたが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社ZISEDAIを連結の範囲に含めたことに伴い、当該会社が営む「AI Dynamics事業」を新たに報告セグメントに追加しております。この結果、当第3四半期連結累計期間より、当社の報告セグメントは、「Life Platform事業」、「AI Dynamics事業」及び「Finance Consulting事業」の3区分となっております。なお、前第3四半期連結累計期間において株式会社ZISEDAIは連結の範囲に含めていなかったことから、前第3四半期連結累計期間に係るセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分による組替は行っておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間に、「AI Dynamics事業」セグメントにおいて194,292千円の減損損失を計上しております。